

「レクリエーションの森の管理経営について」

計画保全部 保全課

国有林野においては、従来からスキー場、野営場、自然休養林等のレクリエーション施設の設置に努めてきました。また、国土の保全、自然の保護、林業経営等との調和のもとに、さらに積極的に、国有林野を計画的、かつ、適正に、国民の保健休養の場として提供する必要があることから、昭和47年度以降に樹立する地域施設計画においては、自然景観、森林の保健、文化・教育的利用の現状及び将来の見通し、地域の要請等を勘案し、森林の他の諸機能との調和を図つたうえで、レクリエーションの用に供する国有林野を「レクリエーションの森」として選定してきました。

山、キャンプ、ハイキング、温泉浴など多様な森林レクリエーションを楽しむことができ、当局管内には20箇所選定しています。

代表的な自然休養林の1つとして、東京都八王子市に位置する高尾山を設定しており、都心から最も近距離にある天然林として知られ、春の新緑と秋の紅葉を楽しむことができる自然景観を有しています。また、山稜の桜並木も有名で、春

の開花期には美しい花のトンネルが現出し、年間を通じ200万人以上の方が利用しています。

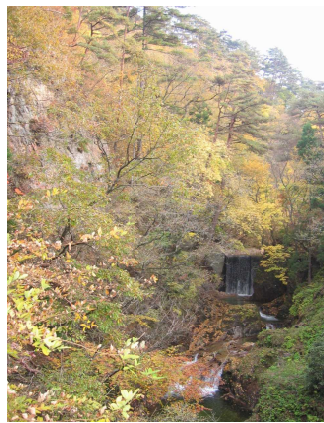
高尾山はもともと高尾山薬王院の御朱印地であったこともあって、地域内には老木のスギ並木や滝を利用した修行地等があり、昭和2年にケーブルカーが建設されて以降は容易に山頂に到達できるようになり、富士山も眺望できることからより一層注目されています。

さらに、平成19年にはミシユランガイドで最高ランクの三つ星の観光地に選出されたことも加わり、海外からの観光客も増加しています。

ながら植生、野鳥などの観察や森林の働きなどを学ぶことができ、近隣市町村の小中学生の自然科学教育などに適した森林を選定します。

森林スポーツ林

森林スポーツ林は、キャンプ、クロスカントリースキー、フィールドアスレチック、サイクリング等森林を主体とするアウトドアライフに適した地域を選定しており、多くの方に利用されています。



山本不動森林スポーツ林 (福島県棚倉町)

野外スポーツ地域

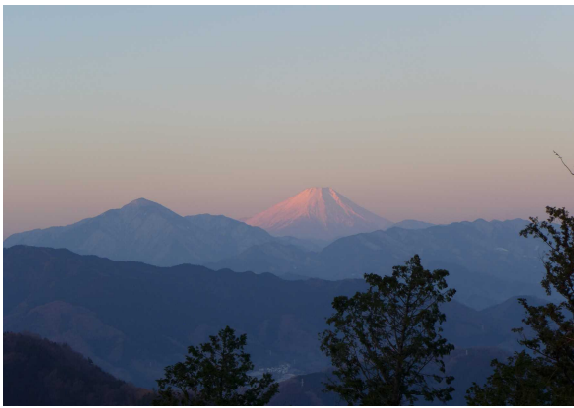
野外スポーツ地域は、スキー場、パブリックゴルフ場、総合運動場等のスポーツ施設やホテル、民宿等の滞在施設等の設置に適した地域を選定しています。

代表的な地域の1つとして、新潟県の苗場があり、国内最長のゴンドラ(全長約5.5km)を利用し、冬は

自然休養林

自然休養林は、森林を主体とした風景の優れた地域で、自然探勝、登

レクリエーションの森は、自然休養林を始め、自然観察教育林、森林スポーツ林、野外スポーツ地域、風致探勝林、風景林の6種類に区分され、それぞれ対象とする目的に応じた国有林野を選定しています。



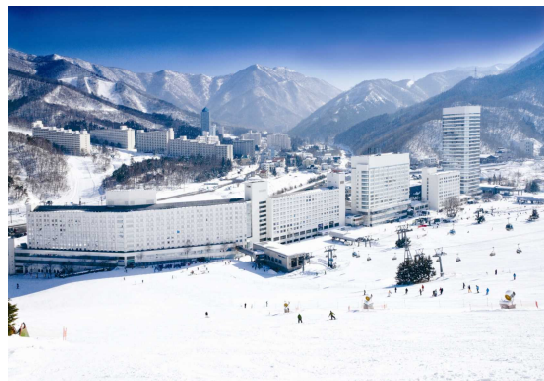
高尾山一丁平から望む富士山(赤富士)



登山客で賑わう4号路(みやま橋)

自然観察教育林

自然観察教育林は、自然を楽しみ



苗場スキー場

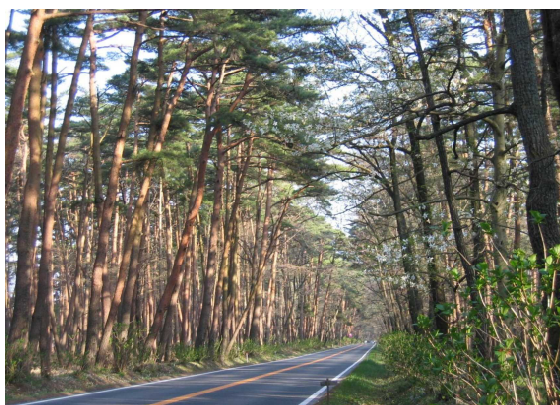


ドラゴンドラと紅葉

スキー場として初級者から上級者まで楽しめるコースが満載で、それぞれの年齢に応じたウインタースポーツを楽しむことができ、初夏から秋にかけては新緑や紅葉を楽しむ方も賑わっています。

風致探勝林は、湖沼、溪谷と一体となつて優れた自然美を構成している森林、多様な樹種・林相からなり、明暗・色調に変化を有する森林等であつて休養施設、宿泊施設等の設置により森林内における休養活動を助長することに適した地域を選定しています。

風致探勝林



那須道路風景林（栃木県那須町）

風景林は、名所、旧跡等と一体となつて優れた景観を作り出している地域を選定しており、展望台や休息地、道路等から眺望できる美しい森林です。

風景林

今後も、公益重視の管理経営の一層の推進を旨とする方針の下、地域振興にも寄与する魅力あるレクリエーションの森を提供するため、地域関係者の意見を踏まえた管理経営を行っていきます。

設定の見直しにあたっては利用者の動向及び今後の見直し、整備の実現可能性、地元自治体を始めとする地域関係者の意向・協力体制等について総合的に検討し、設定目的が失われた地区、利用者の低位な地区、今後の施設の整備や維持が期待できない地区、管理にあたつて地域関係者の協力が得られない地区については、原則廃止を検討しています。

レクリエーションの森は制度創設から相当期間が経過し、利用者のニーズが大きく変化したこと、施設の老朽化等が進み維持管理のための体制が整わなくなつたこと等により、今後の施設の整備や維持が期待できないレクリエーションの森があることから、平成27年4月に「レクリエーションの森」のリフレッシュ対策の運用について「が改正され、レクリエーションの森の設定見直しを行うことになりました。

レクリエーションの森の設定見直し



伊豆森林管理署では、職員実行で有害鳥獣捕獲（くくり罠による捕獲）によるニホンジカの捕獲を行っています。植栽した苗木の食害被害防止のためシカ防護柵設置は不可欠で、低コスト化に向けての課題となっています。

伊豆地域は、ニホンジカの生息個体数の増加により、農林業への被害が甚大であることから、生息密度及び生息個体数の管理を行っています。

伐採跡地の再造林経費縮減の取組として、コンテナ苗の植栽を行っています。コンテナ苗の優れている点は、①植え穴が小さく植付け作業が効率的 ②活着率や初期成長に優れる ③植栽可能時期が長い等が挙げられます。

今月の表紙

「コンテナ苗の植栽とシカ防護柵」